

修了1年後 修学成果アンケート結果
3期生に対する管轄教育委員会、勤務校からの評価

(1) 金沢大学教職大学院での学習の成果や効果が見られるか。

	<p>新採教員であり、学習指導、生徒指導、学級経営等まだまだ未熟ではあるが、指導教員を始め周囲の教員から学ぼうという姿勢、学んだことをまずはやってみて更に自分なりの工夫を加えようとする姿勢は、課題等を自ら探求してきた大学院での学習の成果であると考えられる。(これまで出会ってきた新採教員と比しての相対評価であるが)</p>
学デ学卒	<p>生徒の見取りを大切に授業実践を積み重ねている。</p> <p>授業内容や授業の進め方を意識して、教材研究や事前準備をしっかり行った中で授業を展開していたので、生徒が意欲的に楽しく取り組んでいる。</p> <p>教材研究に励み、本時のねらいを明確に持ち、ねらいを達成するための発問や板書を意識して授業を行っている。</p> <p>教職大学院での学びを生かして、国語科の文学的文章や、古典分野の授業で工夫を盛り込んだ授業実践を重ねた。</p>
学デ現職	<p>修了生の研究テーマであった「対話による人との関わりを大切に学級集団づくり」を生かし、計画的に見直しをもって学級づくりを進めていた。</p> <p>研究テーマであった「小中連携」への意識は非常に高く、指導の系統性を意識して授業改善を行っている。</p> <p>今年度本校に転任してきたばかりであるが、研究主任となり、教職大学院で学んだことを活かした提案を図るなど成果が見られた。</p> <p>みられる:英語発展コースでの生徒の英語力が向上してきた。</p> <p>本人の新学習指導要領の理解が深まったことから、総合の時間で、SDGsを通じた学習を取り入れた指導を実践してきたことで、生徒の発表力や表現力の向上につながった。</p> <p>教育改革の動向やその社会的背景等に対して、常に意識を働かせているところに、学修の効果がみられる。</p> <p>本人の研究テーマであった「小中連携」の意識を持って業務にあたっている。</p>
マネジメント	<p>若手研修コーディネーターとして、これからの教員に必要な資質能力と若手のニーズをふまえ、研修の立案運営に当たるなど大学院での学習成果を十二分に発揮している。</p> <p>研究テーマである、「課の主任をつなげる新たなコミュニティの形成」を本校で実践し、学部を超えた組織マネジメントに取り組み、学校全体に貢献している。</p> <p>研究主任として、学力向上に向けた学校研究を推進している。また、ミドルリーダーとして学校運営に積極的に参画し、ボトムアップによる業務改善の実践に取り組んでいる。</p> <p>貴大学院で、さまざまな校種の先生方と刺激あふ、探究心旺盛に粘り強く学習した姿勢は今も継続してみられる。</p> <p>教務主任として、管理職の方針のもと各部への連絡調整、職員への適切な指導助言を行い、業務改善と組織的な学校運営に成果を上げている。</p>

(2) 修了生の課題研究等実践が継続して行われているか。

	<p>社会科の授業実践の中で、資料提示や課題の持たせ方等の工夫している。</p> <p>本人自身が、授業(教育活動)そのものを楽しんでいる。</p>
学デ学卒	<p>本人の研究は中学校社会科に係るものだと聞いているが、今年度は初任者研修の関係で社会科を担当していない。しかし、他者との協働という観点では、ペア及びグループ学習の工夫やグループエンカウンターによる人間関係作りに取り組んでいる。また資料活用についても、国語科や算数科の教材に関わり、児童への理解のさせ方やまとめ方等で取組を進めている。</p> <p>生徒の学習への主体的な関わりを意識した授業がなされていた。</p> <p>教科部会において、上記の見取りを大切に授業について互いに意見交換しながら学び合う姿が見られた。</p> <p>授業では、「生徒が楽しく興味を持って取り組むためにどのようにすればよいか」を常に考え、工夫しながら授業を展開している。</p> <p>授業では、「生徒が楽しく興味を持って取り組むためにどのようにすればよいか」を常に考え、工夫しながら授業を展開している。生徒がわかりやすい授業を心掛け、学習のねらいや課題をしっかりと考えて、授業の進め方を工夫している。なにより、本人が授業をすることを楽しんでいるのがわかる。</p> <p>校内のカウンセリング指導員、通級担当、養護教諭等と連携しながら、個々の生徒の悩みを聞いたり、教室になじめない生徒に温かく粘り強く関わったりした。</p>
学デ現職	<p>若手教員育成プログラムコーディネーターとして研究の学びを生かし、校内で実践している。</p> <p>今年度は、3年生の担任ということで、昨年度の4年生の実践を生かしながら、模索を続けている様子が見られた。</p> <p>総合や英語の授業で、新学習指導要領で求められる学力を高めるための実践が行われている。</p> <p>ICTの効果的な活用について、本校の実態をふまえながら実践研究を継続している。</p> <p>生徒に興味関心を持たせて意欲的に取り組める授業づくりなど、教科部会で共有されている。</p> <p>校務分掌の各課の主任を集めた主任学習会を令和元年度から行っており、令和2年度も継続して行っている。また、今年度は加えて、各教科での連携を密にするための教科別学習会も開催している。</p>
マネジメント	<p>これからの教員に必要な資質能力と若手のニーズをふまえ、研修の立案運営に当たるなど実践が継続して行われている。</p> <p>若手教員との対話を通して、自らの働き方を振り返ったり、業務改善について考えたりすることで、組織における業務改善の課題と改善策を提案するなど、ボトムアップによる業務改善に努めている。</p> <p>職員間の協働性の向上が業務の効率化に役立っているとした課題研究の成果を踏まえ、現在の職場でも実践に取り組んでいる。</p> <p>若手教員との対話を通して、自らの働き方を振り返ったり、業務改善について考えたりすることで、組織における業務改善の課題と改善策を提案するなど、ボトムアップによる業務改善に努めている。</p> <p>教務主任として、常にチーム学校を意識して職員の声をよく聴き、管理職につなぐとともに組織的に対応することを継続して行っている。</p> <p>研修コーディネータが進行し、グループで話し合う形式で、「価値づけ」について互いの実践を交流したり意見を交換したりする校内研修を行った。</p> <p>学校生活の中で児童の言動を認め、価値づけるポイントや具体的な言葉かけなどを話し合い、共通実践につながる研修となった。</p>

(3) 修了生の課題研究等による実践が教職員に効果・影響を及ぼしているか。

学デ学卒	研究授業や校内研修、日々の授業において、先達の助言を受けながら、若い感性で考えた工夫を加えて、より本人の思いを反映させた授業をつくりあげる姿勢が見られた。
	他の数学科の教員と連携し、授業研究を進めていた。 失敗を恐れず、何ごとにも明るく前向きに取り組んでいる姿勢。
	毎週算数科や国語科、道徳などを中心に研究授業を行っています。その際の教材研究の背景には、修了生の課題研究等による実践があると考えられます。
学デ現職	本人の課題研究を生かし、年度当初「学級活動の活性化に向けて」という内容で校内研修を行ってくれた。
	学年担任を教職2年目の若手教員と組んでおり、折に触れて校内OJTを行い、指導・助言することで多大な好影響を及ぼしている。若手教員も、児童への関わり方や学級経営の基礎を学ぶ、良い機会となっている。
	大規模校勤務であり教科部会を活性化させている。生徒に興味関心を持たせる授業については本人の良い影響を受けている若手もいる。
	総合で培う力を改めて認識することができた。
	校区の小中連携協議会で中心的役割を果たしている。
	課題の解決・改善に向けて粘り強く研究を続けながら、同僚や先輩と意見交換に努めており、特に若手教員に良い影響を及ぼしている。
マネジメント	主任学習会を開くことで、他の課の業務を把握し、学校全体の業務につなげて考えられるようになり、他の課の主任がかかえる悩みなども共有しミドルリーダーの育成に貢献しているといえる。
	本校の若手教員育成プログラムのグループ研修を行い、丁寧にアドバイスを返し、若プロ対象者がより主体的に学ぶ姿が増えた。
	日々の校内研修のコーディネーターが中堅教員としてのモデルとなっており、若手教員に大きな影響を及ぼしている。
	協働性の向上のため、職員間の日常のやりとりが重要と考え、積極的にコミュニケーションをとることで職員間の円滑な業務の遂行に良い影響を与えている。
	若手教員のメンターとしての役割を担い、若手教員の良きアドバイザーとなっている。また、管理職と若手教員をつなぎ、業務改善等に向けてミドルリーダーとして学校運営に大きく寄与している。
常に親和的な姿勢で職員とコミュニケーションを取っており、風通しの良い職員室の空気を作っている。	

(4) 修了生の課題研究等による教育活動が、地域における教育活動の改善に資するものとなっているか。

学デ現職	コロナ禍による特殊な状況の中では、地域と直接関わることはできていないが、個々の生徒への指導をととして、数多くの家庭でのオンライン学習環境の整備を支援した。
	校区の小中連携協議会では、授業づくり部会の中心となり、小中の系統性を意識した授業作りにおいて意識的に発信を続けた。
	在籍校での若手研修の実践が市内の他の学校での参考例となり、七尾市における若手研修の改善につながっている。

(5) 修了生の日々の教育活動が、校内での教育実践や課題解決に貢献できているか。

学デ学卒	真摯に授業に向き合う姿勢や周りから学ぶとする姿勢は、周りに授業を大切にすることを育んでいる。
	学級担任や与えられた校務分掌の中での教育活動は、その献身的な仕事ぶりから校内での課題解決に貢献できていると判断できます。
	教科指導、特別活動における指導、生徒指導に誠意と熱意を持って取り組み、学年部の教員に相談したり指示をあおいだりしながら課題を解決している。
	学年で取り組む総合的な学習、特別活動、生徒指導上の問題解決について、OJTの中で学びながら、自分なりに学校、学年に貢献した。
	総合の時間の計画を見直すことができた。
学デ現職	修了生の実践研究に対する前向きな姿勢は、授業研究においても発揮され、学年内の推進役を果たしてくれた。特に、同学年に初任者もいることから良い刺激を初任者に与えてくれた。
	ICT機器を効果的に活用した教育活動が、同じ学年を組むベテランの教員の助けや刺激となっている。
マネジメント	生徒の卒業後の姿を見据えた教育を行うと同時に、生徒の意欲、達成感、自己肯定感を持たせられる教育を行っている。
	教員一人一人の意識を高めるとともに成果を可視化することから、業務改善による時間外勤務時間は縮減されている。指導面の課題に対して、学校組織で対応することを重点に、生徒や保護者へのアプローチや他の生徒の理解・協力を得ながら、組織体制を構築することができた。
	新採教員の校内指導員として、学習指導や生徒指導について子供の姿を通じた適切な指導助言を行い、指導力の向上に貢献している。

(6) 修了生が、所属校及び地域におけるその他の教育実践、活動に貢献しているか。

学デ学卒	自分の役割、分掌に誠実に取り組むとともに、学年で取り組む地域と連携したキャリア教育にも積極的にに関わり、自分なりに学校、学年に貢献した。
	体育担当として、他の教員の助言・協力を得ながら「校内なわとび大会」を企画立案し、コロナ禍の中、無事やり遂げることができた。
	保健体育科のダンス分野の専門性の高さを生かし、教員対象のダンス講習会の講師としてその能力を発揮した。
	初任者ではあるが部活動の指導にも積極的であり、生徒及び保護者からの信頼もあついている。
	本校ではサッカー部を担当し、技術面だけでなく精神面でも積極的に生徒と関わり、保護者の信頼を得ている。
学デ現職	今年度、本校の特別活動の重点として「学級会活動の充実」を掲げた。若手教員が多い中、学級会活動の活性化に向け修了生の研究内容は示唆を与えてくれるものであった。
	所属校においては、「総合的な探究の時間」の企画・運営にもリーダーとして貢献しており、学修成果が活用されている。また他校と連携した学習指導をととして、一定の成果をあげている。
マネジメント	作業学習の木工作を担当しており、授業で生徒が作成した作業製品は地域のJAや施設などに販売なども行っており、クオリティーの高い製品は地域でも大変人気が高く、製品を求めて来校されたり、他学校からの問い合わせも来ている。
	自主研究会「生活単元学習を学ぶ会」の企画運営に携わり、県内外の特別支援学校教員等の主体的な学びの場を提供している。
	児童の特性や発達段階を考慮した学級経営及び授業実践(児童への肯定的なフィードバック・興味・関心を高める導入の工夫・切り返し発問等)で、児童が落ち着いて学習に取り組むようになるなど貢献している。

(7) その他 長所として特記すべき事項について

学デ学卒	苦手な分野や新しいことに及び腰にならず、部活動指導やITC機器の活用等にチャレンジ精神をもって取り組もうとする姿勢がある。
	初任者であるので不安も大きいと思うが、児童や保護者に対して落ち着いた丁寧な対応をすることができている。また、周りの教員の助言を素直に聞くことのできる姿勢も強みである。
	保護者との信頼関係の構築、来客や電話に対する適切な応対・対応がみられた。
	謙虚に学び吸収しようとする姿勢は大変好感が持てる。定期的に訪問している市の主任指導主事からも積極的に学び、本人にとって実りある1年であったと感じる。
	学ぶ姿勢を常に持っており、今後若手のリーダーとしても大いに期待できる人材である。
	周囲からの指導助言に、熱心に耳を傾ける素直さや謙虚さを持っています。また、何事も実行してみようという積極性も彼女の持ち味となっています。
	年度当初は、教師主導で授業を構成しようとする意識が高く、本校の児童の実態と合っていない所がみられたが、授業実践する中で、児童の達成感をもたせる工夫や児童が考えやすいシンプルな発問等、児童の実態に合った授業ができるようになってきた。謙虚に学ぶ姿勢が成長につながっている。
英語の指導、総合の指導でフロントランナー的な役割を果たしている。	
学デ現職	校内研修の講師を自ら進んで行ってくれる積極的な姿勢は、学級研究の推進にも大きく貢献した。また、自らの実践研究を継続し、コロナ禍における学級集団作りについても示唆を与えてくれた。
	勤務校において、対話を大切にしながら生徒指導の三機能を生かした学級経営を日々実践していることは、教職大学院での学習の成果であると考え。その他、文化的行事等を通して、人との関わりを大切に企画・運営、ねらいを明確にした取組を行うなど、他の若手教員への良い影響が波及している。
	教職大学院での学修成果をふまえ、高い目標を掲げ研鑽に励んでいる。
	異動1年目での研究主任として大変であったことと思うが、教職員大学で学んだことが本人の大きな自信ともなっており、前年度までの学校研究の成果を活かしつつ新たな提案を行うなど、校内での貢献度は非常に高かった。
	指導力向上のために、研修等へ参加するなど、積極的に取り組んでいる。
	明るく朗らかに授業を進めていく姿勢は素晴らしく、来年度は、校区における小学校においても実際に授業をする機会を積極的にとれるよう、市として検討している。
常に組織としての業務を考えており、組織マネジメントを行い、チーム作りの中から、チームリーダーやミドルリーダーの育成の重要性を考えている。	
マネジメント	若手教員育成プログラムにおいて金沢大学大学院での学びで得た最新の教育情報及び資料を提供している。
	学級担任、初任者の指導教諭と教務主任を兼ねるなど、中堅教員として学校の重責を担い、校長のビジョンの具現化に向けて大きく貢献している。
	ポジティブ思考で物事に意欲的に取り組み、児童に対する教育的愛情も豊富である。他の教員の模範となる姿を示している。
	金沢大学教職大学院での研究とその成果が大きな自信となり、教員としての姿勢や言動、立ち振る舞いなど、組織の中での自分の役割を自覚し、謙虚に実践を積み重ねている。
	貴大学院で行った課題研究を踏まえ、素直に朗らかにコミュニケーションをとって業務にあたり、課内の雰囲気をもっとよいものとしている。